

えんだより



平成 28 年 2 月号 あおぞら水元保育園 Tel:03-3600-7080

2月3日は節分です。

最近は大声で「鬼は外!」「福は内!」と言えない住宅環境になっていますが、保育園の子ども達はそれぞれ心の中にある鬼(泣き虫鬼・イヤイヤ鬼等)を退治して、幸せが多く住み付くように、大声で叫びます。

保護者の方も自分の心の中にある「鬼」を探して退治しましょう。
そして翌日2月4日は「立春」です。春を清々しい気持ちで迎えましょう。

今月の予定

- 2/3 豆まき・お誕生会
- 2/17 防災訓練
- 2/18 生活発表会の予行練習
- 2/20 生活発表会
- 2/26 ボランティア「あおぞら」様 来園



★保健室より

1年で最も寒さの厳しい2月がやってきました。暦の上ではもうすぐ立春ですが、まだまだ寒い日が続きます。健康管理に引き続きご注意ください。

今年は、暖冬の影響をうけてか去年に比べるとインフルエンザの流行が遅い傾向があります。

インフルエンザは、乾燥した環境を好みます。空気中での感染拡大を抑える為には、加湿器などで湿度を50~60%に保つことが重要です。

また、感染性胃腸炎などの感染症も流行しています。規則正しい生活リズムを整え、手洗い・うがいの習慣づけをするように心がけ、病気に負けない体作りをしていきましょう。

子どもの肌は、つるんとして水分もたっぷりです。トラブル知らずのイメージもあるかと思いますが、実は子どもの肌はとてもデリケートです。

大人よりも皮膚が薄いので刺激を受けやすく乾燥しやすいのです。ですから子どもの肌はしっかりとケアする必要があります。乾燥した空気は、子どもの肌には大敵です。

放っておくと、かゆみ・かさつきが悪化します。保育園では、アトピー性皮膚炎などの皮膚疾患で園生活に支障が生じる場合、処方された塗り薬をお預かりすることができます。

ご家庭でも、ドライスキン(乾燥肌)になっていないか観察してみてください。

★給食室より

もり組では、えのきたけを使って、きのこほぐしを行いました。えのきたけはこれまでに何回か触れてきているので、驚いたり嫌がる様子の人はいませんでした。みんな積極的にえのきたけに触り、「とれたね」「えのきたけ」と話しながら活動していました。来月はピーマンに触れる食育を行いたいと思います。

にじ組では、キャベツをちぎる活動を行いました。キャベツをちぎりながらキャベツの歌を歌い、楽しく活動しました。芯の部分に触って「かたいね」と言ったり、「穴があいてるよ」と発見する人もいました。

つき・ほし組でのれんこんの観察は、皮をむいたり、包丁で切って中を見ました。れんこんの穴が何個あいているのか数える人や、中をのぞいて「穴がつながっている」と発見する人がいました。切れていない大きなれんこんを初めて見た人が多く、興味を示していました。

1月はやま組で食育を行うことが出来なかったため、2月は活動できるようにしたいと思います。

2月の郷土料理は山梨県の「ほうとう風うどん」「鶏もつ煮」「ほうれん草ときのこのサラダ」「ぶどう」、おやつに「信玄プリン」を提供します。

【子育てアドバイス】

しつけとは

しつけをしようとする大人は、子どもが大人を理解・受け入れして、自ら実践しようという気持ちになれるような「言葉かけ」や「行動、表情」をしましょう。しつけと称する精神的虐待を、知らず(無意識)に行っている大人が最近のニュースでは増えている傾向です。

虐待の目安の例として ①泣いている時無視したり放置する。 ②すぐに叩く。

③暴言や突き放すような言葉(嫌い!あっちいけ!)を言う等です。

幼い子どもが大人の言葉を素直に受け入れられる前提条件は「愛されている」という裏付けが欠かせません。

安心と安全によって“安定した心”が育ち「しつけ(社会的ルール)」が身に付くのです。

* 子育てに不安を感じたら、保育園にご相談下さい。

